

川口市・鳩ヶ谷市の合併について

1. 沿革と経緯

(1) 両市の沿革と合併に関わる経緯

- ・昭和 8年 4月 川口町・横曽根村・青木村・南平柳村の合併により川口市制施行
- ・昭和15年 4月 川口市が鳩ヶ谷町・新郷村・芝村・神根村の1町3村を編入合併
- ・昭和25年11月 鳩ヶ谷町分離
- ・昭和31年 4月 川口市が安行村を編入
- ・昭和32年 3月 埼玉県新市町村建設促進審議会の答申に基づき、知事は川口市と鳩ヶ谷町の合併を勧告
- ・昭和33年 3月 鳩ヶ谷町議会で「川口市との合併」議案を可決
- ・昭和33年12月 鳩ヶ谷町議会で「川口合併取消」の緊急動議が出され賛成多数で可決
- ・昭和35年 4月 川口市が美園村の一部を編入
- ・昭和37年 5月 川口市が美園村の廃置分合により一部を編入し、現在の市域を形成
- ・昭和42年 3月 鳩ヶ谷市制施行
- ・平成14年12月 川口市・蕨市・鳩ヶ谷市合併協議会設立
- ・平成15年12月 川口市・蕨市・鳩ヶ谷市法定合併協議会設立
- ・平成16年 9月 川口市・蕨市・鳩ヶ谷市法定合併協議会解散
- ・平成21年 1月 鳩ヶ谷市が合併協議の申し入れ書を川口市へ提出
- ・平成21年11月 鳩ヶ谷市が任意合併協議会設立の申し入れ書を川口市へ提出
- ・平成21年12月 川口市・鳩ヶ谷市任意合併協議会設立
- ・平成22年 9月 川口市・鳩ヶ谷市合併協議会設立（法定）
- ・平成23年 1月 川口市・鳩ヶ谷市合併協定調印
- ・平成23年 8月 総務大臣による告示
- ・平成23年10月 川口市・鳩ヶ谷市合併（11日）

(2) 2市の地域概況

① 位置及び地勢

埼玉県の南部に位置し、西から北にかけては戸田市、蕨市、さいたま市と、東は越谷市、草加市と、南は荒川を隔てて東京都とそれぞれ接しています。市域は、東京都心から10～20km 圏にあり、圏域の中央を国道122号、東北自動車道、首都高速道路葛飾川口線が南北に縦断し、圏域の北部を東京外かく環状線が東西に横断しています。また、JR京浜東北線、武蔵野線、埼玉高速鉄道線に9つの駅が設置されるなど、交通の利便性が極めて高い地域となっています。

地形は、大宮台地の南端部に位置し荒川低地と中川低地に属する平坦地にあり、海拔は最高点でも約20mとほとんど起伏のない地形となっています。

② 川口市の各地区と鳩ヶ谷市

川口市の面積は55.75平方キロメートル、鳩ヶ谷市の面積は6.22平方キロメートルとなっています。川口市の9地区と鳩ヶ谷市を比較しますと、鳩ヶ谷市は人口では、南平地区に次ぐ5番目の規模であり、面積では、新郷地区に次ぐ6番目の広さとなっています。川口市と鳩ヶ谷市の面積を合わせますと鳩ヶ谷市の面積は全体の約1割にあたる10.04%の割合となります。

(3) 地区別人口および面積

(平成23年4月1日現在)

区 分	人口 (人)	面積 (km ²)	面積の 割合(%)	
地 区 別	中央地区	39,379	2.210	3.57
	横曽根地区	66,665	4.184	6.75
	青木地区	77,612	6.157	9.94
	南平地区	64,067	7.038	11.36
	新郷地区	39,337	6.583	10.62
	神根地区	51,646	9.716	15.68
	芝地区	82,550	6.682	10.78
	安行地区	34,339	5.619	9.07
	戸塚地区	61,720	7.470	12.05
鳩ヶ谷地区	61,781	6.220	10.04	
合 計	579,096	61.970	100.00	

※地区別面積には、市域のうち荒川河川敷は除かれています

※人口は、住民基本台帳人口+外国人登録者数



東京駅からの等距離マップ

2. 川口市・鳩ヶ谷市合併後の埼玉高速鉄道(株)経営支援について

平成22年2月26日に埼玉県・川口市・さいたま市・鳩ヶ谷市で合意した平成31年度までの経営支援につきましては、川口市として鳩ヶ谷市分を併せた必要な予算措置に努めてまいります。